

# 阪神高速事業アドバイザー会議 〔第17回〕

## 「2024年度の事業実施状況・トピックス」

2024年11月27日  
阪神高速道路株式会社

# 目次

○2024年度の事業実施状況	
1. ネットワーク整備の状況	…2
2. 高速道路リニューアルプロジェクトの状況	…6
3. お客さま満足向上施策の実施状況	…9
○その他トピックス	
1. 料金改定後の交通状況	…13
2. 経営効率化に向けた今後の取り組み	…15
3. 大阪・関西万博に向けた取り組み	…18
4. 災害時への備え	…23
5. 阪神高速道路における多様な働き方・サービス提供の取り組み	…25
6. 新たなグループビジョンの策定(案)	…27

# 1. ネットワーク整備の状況

○阪神高速では、お客さまの利便性向上、関西経済の活性化などに寄与するミッシングリンクの解消に向け、現在、淀川左岸線(2期)、淀川左岸線延伸部、大阪湾岸道路西伸部、名神湾岸連絡線の整備を推進しています



※淀川左岸線延伸部の延長は、西日本高速道路(株)の単独施行区間1.1kmは除いたもの

※名神湾岸連絡線の延長は、国・西日本高速道路(株)の合併施行区間0.3kmは除いたもの

# 1. ネットワーク整備の状況

## 淀川左岸線(2期)

### 建設事業効率化に向けた取り組み

・多くの人員が必要な近接構造物の変状計測を自動化することで、省力化を図っています

- 大阪市より受託している海老江地区及び豊崎地区の工事（開削トンネル・換気所・橋梁）では、橋脚工、桁架設工および掘削工が完了し、床版工および函体工等を実施しており、年内に概成する見込みです
- 大阪市と共に、大阪・関西万博会場へ向かうシャトルバスのアクセスルートについて、ハード面およびソフト面の準備を進めています

## 淀川左岸線延伸部

### 建設事業効率化に向けた取り組み

・シールドトンネルのセグメント構造改良により耐久性向上と作業工数の低減を図っていきます

- 豊崎地区では地中障害物撤去工事等を実施しています
- トンネル部では有識者の助言を踏まえ設計検討を実施しています
- 堤防・トンネル一体構造の区間では、安全性等の検討について国と協議・調整を進めています



舗装工事の実施状況



トンネル函体工事の実施状況



床版工・壁高欄工の実施状況



U型擁壁部躯体工事の実施状況





# 1. ネットワーク整備の状況

## 大阪湾岸道路西伸部

- 駒栄地区では開削トンネル（本体）工事を実施しています
- 六甲アイランド地区では橋梁の基礎工事を実施しています
- 海上部長大橋（新港・灘浜航路部）では詳細設計契約に向けて手続き中です  
詳細設計契約後は、耐風・耐震及び施工計画を踏まえた詳細設計を実施予定です

**建設事業効率化に向けた取り組み**

・無人掘削機の導入による省力化を図っています



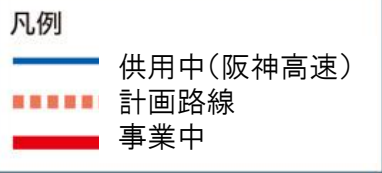
開削トンネル工事実施状況  
(U型擁壁構築)



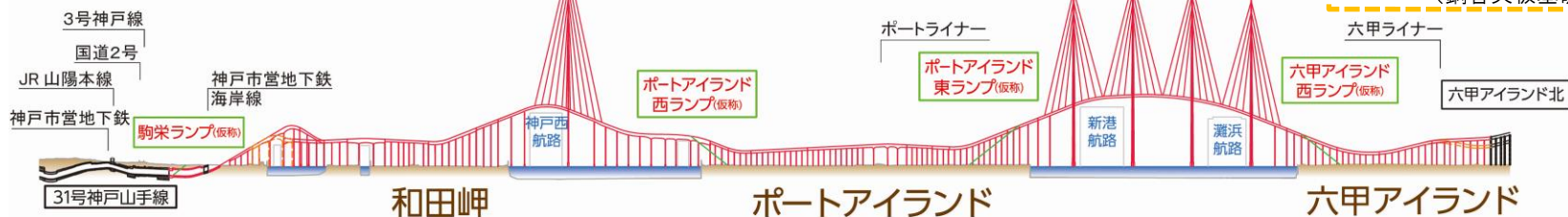
海上部長大橋(鋼斜張橋)外観イメージ



橋梁基礎工事の実施状況  
(鋼管矢板基礎打設)



### 縦断図



# 1. ネットワーク整備の状況

## 名神湾岸連絡線

- 共同事業者（国・NEXCO西日本）と事業の役割分担等を調整しています
- 国と共に予備設計業務を実施しています

**建設事業効率化に向けた取り組み**  
 ・CIMの活用により既設構造物等の位置関係を3Dモデル化し、設計等の精度向上や生産性向上を図っていきます

### <平面図・縦断図>

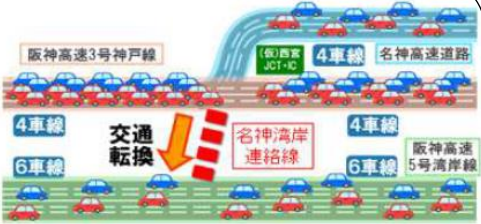


注)この縦断図は名神高速道路→名神湾岸連絡線→阪神高速5号湾岸線(神戸方面)のランプをイラスト化したものです。イメージであり、構造等は確定したものではありません。

### <ネットワーク整備の効果>【R6.3.12 社会資本整備審議会 道路分科会 第24回事業評価部会資料より抜粋加工】

#### 効果1 渋滞の緩和

湾岸線に交通転換することで、神戸線の渋滞を緩和し、速達性・定時性が向上。



(仮称)西宮JCT・IC周辺における現在の交通状況と将来の交通転換イメージ

#### 効果2 物流の効率化

名神高速道路と湾岸線を直結し、大阪湾岸道路西伸部と一体的に整備することで物流ネットワークの強化に寄与。

#### 効果3 災害時等に強いネットワークの確保

事故、災害、緊急時等に阪神東西軸におけるリダンダンシーの確保が可能。  
 ※リダンダンシー：全体の機能不全につながらないよう交通ネットワークを多重化



# 2. 高速道路リニューアルプロジェクトの状況

○阪神高速道路を100年先も安全・安心・快適にご利用いただくため、新たなネットワークを活用しつつ、構造物の長寿命化に向けた「高速道路リニューアルプロジェクト（大規模更新・修繕事業）」を推進しています

## 事業箇所と主な進捗状況

### 3号神戸線 湊川(1968年開通)



新設橋脚設置状況

- ▶ 耐久性の向上及び最新の耐震基準への適合のため、既設橋脚間に新たな橋脚の架設が完了
- ▶ 上部工の架け替えまでの健全性把握のためにモニタリングを実施中

### 15号堺線 湊町 (1972年開通)



外面防食完了状況

- ▶ 先行施工分（全9基の鋼製基礎のうち3基を対象）の支承取替を完了
- ▶ 内外面の防食工及び躯体コンクリート工を実施中（万博までに概成予定）

### 14号松原線 喜連瓜破 (1980年開通)



新設桁架設状況

- ▶ 2022年6月より松原線の一部区間を上下線通行止めすることにより、橋梁全体を鋼製の連続桁へ架け替える工事を実施中
- ▶ 既設橋桁の撤去、新設橋桁の架設が完了
- ▶ 作業に必要な重機の配置計画見直しや、特殊防音資材採用による夜間施工の実施等により工期短縮を図り、早期の通行再開へ向け施工中



### 16号大阪港線阿波座 (1997年車線拡幅)



完了状況

- ▶ 縦目地構造を解消し、安全性の向上、騒音の低減を図るための架け替えを実施
- ▶ 施工ヤードの有効活用により複数作業を並行して実施するなど工期短縮を図り、2024年5月に本線上の固定規制を撤去
- ▶ 街路の復旧工事等を実施中（2024年12月完了予定）

# 2. 高速道路リニューアルプロジェクトの状況

## 【喜連瓜破橋梁架け替え工事】通行再開へ向けた広報

- 当初2025年3月としていた通行再開時期を2024年12月に前倒し。
- 2024年4月の社長会見を皮切りに、12月の通行再開予定日へ向けた広報を各種媒体にて実施。
- 通行再開後も、お客さまへの感謝、プロジェクトの意義訴求及び交通量回復のための広報を実施予定。

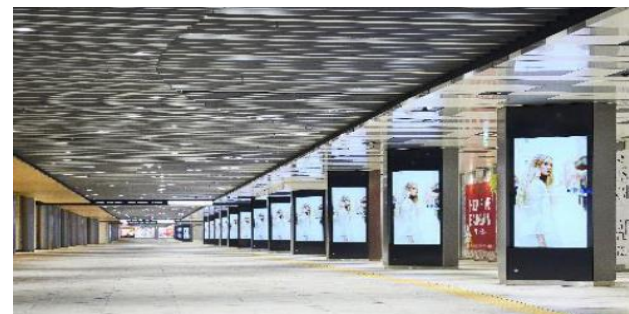
2024年

- 4月10日 **社長会見**にて通行再開前倒しの意向を渗み出し（社長発言「1か月、2か月という月単位での工期短縮を目指したい」）
- 10月9日 **社長会見・プレス発表（第1弾）**にて通行再開前倒しを発表（社長発言・配布資料「12月上中旬 通行再開へ」）
- 10月中旬 新聞広告にて再開前倒しを周知。併せてSNS、特設サイトでも周知。
- 11月13日 **プレス発表（第2弾）**において具体的な通行再開日を発表。インターネット広告、交通広告（電車、駅構内）、高速道路上での横断幕等で通行再開日を継続的に広報
- 1週間前頃 テレビ、ラジオCMで集中的に広報
- 12月7日** **通行止め解除、通行再開**

通行再開後 当社ホームページや高速道路上横断幕で工事協力への感謝を掲出。また、特設サイトや大阪駅前地下道のデジタルサイネージ等においてRN事業全体の実施意義を訴求するとともに、YouTubeにて喜連瓜破工事のドキュメンタリー映像を公開予定。



10月中旬に実施した新聞広告



通行再開後の意義訴求広報掲出イメージ



## 2. 高速道路リニューアルプロジェクトの状況

### 【喜連瓜破橋梁架け替え工事】ご理解いただくための取り組み

○工事の実施には地域住民の方からご理解、ご協力をいただくことが不可欠であることから、SNSでの発信など工事の「見える化」を進め、地域住民やマスコミとコミュニケーションを図るための様々な取り組みを実施。



SNS



工事チラシ



工事見学会の様子



近隣小学校での課外授業の様子

#### 【地域住民に向けた工事チラシ、ニュースレターの作成・配布】

⇒地域の方へ事業の必要性や、工事状況について分かりやすく周知。

#### 【地元向け、マスコミ向けの工事見学会の実施】

⇒工事の進捗を直接目で見ていただくため、地元の方やマスコミを対象とした工事見学会を実施。

⇒地元向け見学会において、騒音対策として採用した特殊な防音資材の体験コーナーを設けるなど、工事への理解を醸成。

#### 【小学校や保育園での課外授業の実施】

⇒児童・園児を通じて体験や感想をご家族等へ共有してもらうことを期待し、出前講座を実施。

# 3. お客様満足向上施策の実施状況

○ 2023年12月に公表した「経営効率化に向けた今後の取り組み」のうち、お客さまサービスの向上の取り組みに関して、2024年度に実施する具体的な内容を『**お客さま満足アッププラン2024**』として4月1日に公表しました。

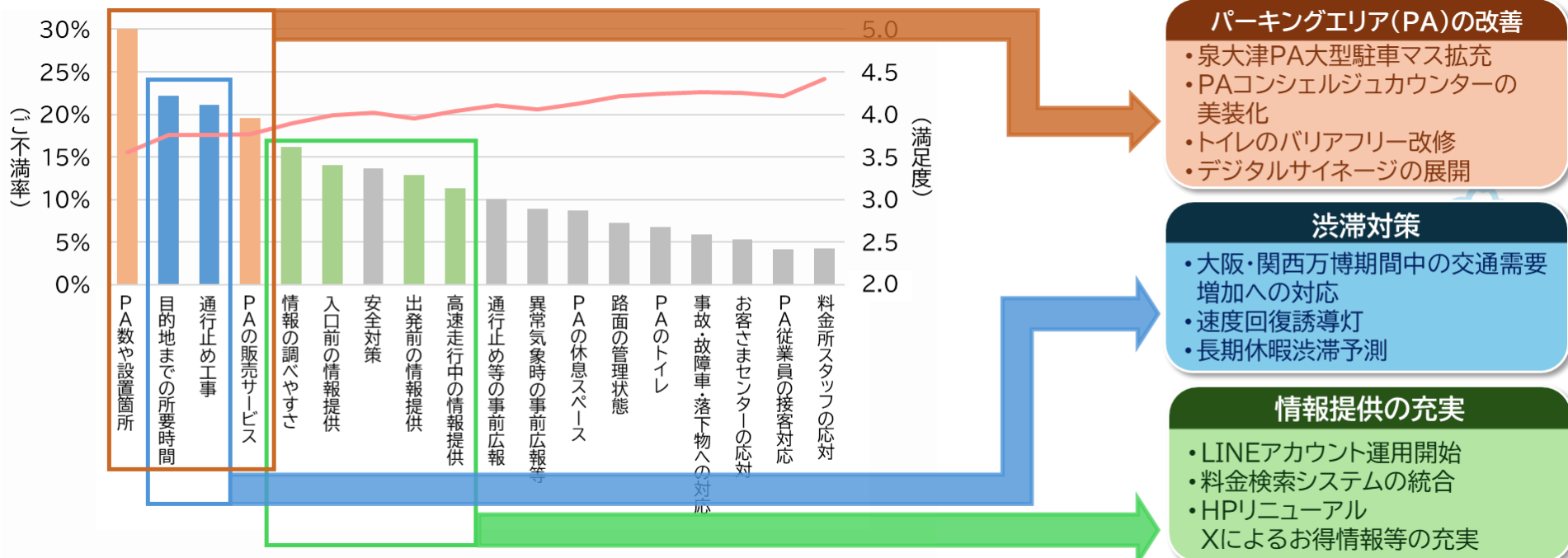


さくっと概要版

じっくり詳細版



お客さま満足度調査の結果を整理分析した結果、お客さまのご要望が多い「**パーキングエリア(PA)の改善**」「**渋滞対策**」「**情報提供の充実**」に真摯に対応し、さらなる改善に努めるとともに、お客さまのご要望の変化、サステナビリティの実現等の社会の要請等を踏まえつつ、新たなサービスを展開します。



**パーキングエリア(PA)の改善**

- ・泉大津PA大型駐車マス拡充
- ・PAコンシェルジュカウンターの美装化
- ・トイレのバリアフリー改修
- ・デジタルサイネージの展開

**渋滞対策**

- ・大阪・関西万博期間中の交通需要増加への対応
- ・速度回復誘導灯
- ・長期休暇渋滞予測

**情報提供の充実**

- ・LINEアカウント運用開始
- ・料金検索システムの統合
- ・HPリニューアル
- ・Xによるお得情報等の充実

※ 「ご不満率」と「満足度」について  
 各項目について「不満」「どちらかといえば不満」「どちらかといえば満足」「満足」の4段階又は「利用していないのでわからない」でご回答頂いた結果により次のとおり算出  
 ご不満率… 各項目のご回答数のうち「不満」「どちらかといえば不満」が占める割合(「利用していないのでわからない」は回答数から除く)  
 満足度… 4段階(不満:1点、どちらかといえば不満:2点、どちらかといえば満足:4点、満足:5点)で得たご回答の平均値

# 3. お客さま満足向上施策の実施状況

## PAの改善

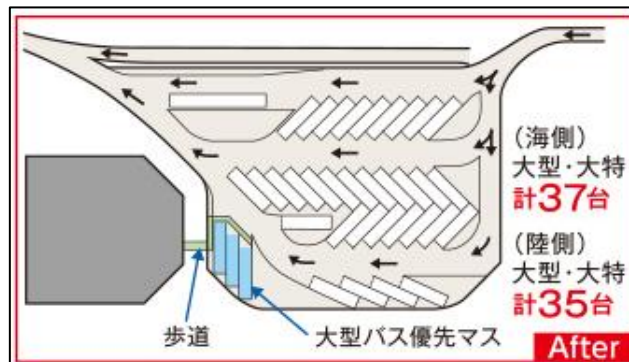
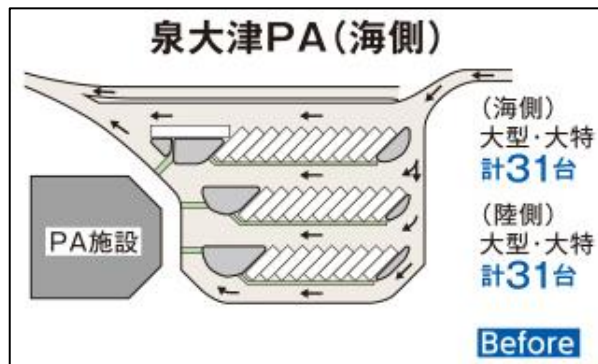
### 5号湾岸線 中島PA (泉佐野方面行) のオープン

大阪・関西万博開催までに、5号湾岸線に中島PA (泉佐野方面行) をオープンします。お客さまをお迎えするエントランスゲートから建物内部までサステナビリティに配慮し、循環型資材である木材を多く使用することで「ぬくもり」を感じていただきながら、ピクトグラム表示やバリアフリートイレの充実等により多様なお客さまのご要望にお応えします。



### 4号湾岸線 泉大津PAの大型車駐車マスの拡充

「物流の2024年問題」への対応も踏まえ、泉大津PA(陸側、海側)の駐車場区画線を見直し、V字レイアウトへ変更することにより大型車の駐車マス数を拡充しました。また、大型バス優先マスを駐車場外縁部に配置し、車道を横断することなく安全にPA施設をご利用いただけるようになりました。

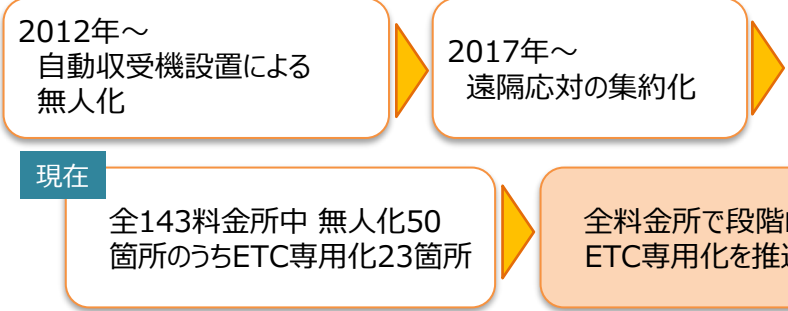




# 3. お客さま満足向上施策の実施状況

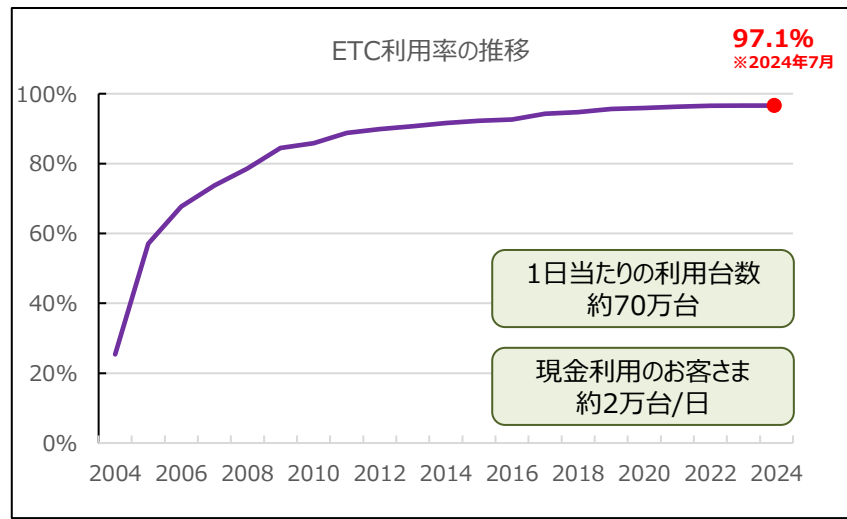
## ETC専用化

### ①全料金所での段階的な無人化・ETC専用化



### ②ETC利用率向上のための取り組み

無人化・ETC専用化を効率的に進めるためには、ETC利用率の向上が必要



ETC車載器の購入費用を助成するキャンペーンを実施

#### 直近で実施するキャンペーンの概要

- 期間 2024.11.11～助成台数に達するまで
- 台数 15,000台
- 助成額 最大10,000円
- その他 新車対象外  
新セキュリティ規格の車載器限定



【キャンペーンチラシ】

# 3. お客さま満足向上施策の実施状況

## LINE公式アカウントの運用開始

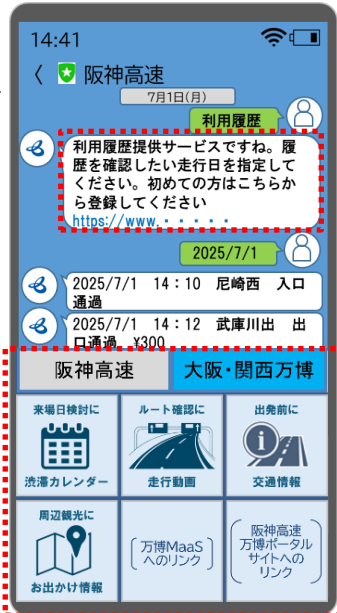
2024年4月1日 第1弾リリース

- 第1弾(当初)リリース内容
- 阪神高速周辺の高速道路料金・参考所要時間の検索
  - トーク画面における阪神高速情報の引き出し
  - 災害・緊急時等の大規模交通障害に関する情報のプッシュ配信
  - 企画割引、キャンペーン情報のプッシュ配信
  - 交通情報(阪神高速はしれGo!)へのリンク
  - ETC利用照会サービスへのリンク
  - パーキングエリア、お出かけ情報へのリンク
  - お得なクーポンの配信

- 第2弾(2025年3月末(予定))リリース内容
- 万博関連情報の提供のためのリッチメニューのタブ化
  - 料金検索機能の充実、ETC利用履歴提供サービスとの連携
  - 情報配信(プッシュ配信)機能の強化

万博に来場されるお客さまにも、阪神高速の交通情報などニーズに応じたタイムリーな情報を、阪神高速の万博ポータルサイト(2025年1月完成予定)等と連携してご提供します。

友だち追加キャンペーン(PAでのコーヒー提供などの広報展開)などを通じて、10月末には友だち数3.3万人を突破。阪神高速の情報提供ツールとしての活用を進めている。



## 企画割引の実施

### 土日祝限定「阪神高速おでかけパス」の販売

<定員> 大阪・神戸の各コース先着2,500名(合計5,000名)  
 <利用期間> 2024年11月2日～2025年3月30日までの土日祝

観光目的利用の周遊による沿線地域の活性化  
 ・大阪・神戸周遊コースの商品及び大阪・神戸の各観光局が販売する観光周遊券とのお得なセット販売を実施  
 ・加えて、提携施設で使える共通クーポンの配布を継続実施

選択したエリア内を1日定額で周遊!

阪神高速おでかけパス

SMART PASSPORT 大阪東遊バス とのセット購入でさらにお得!

大阪周遊コース(料金)		阪神高速おでかけパス (東遊連発周遊のみ)		大阪東遊バス セットプラン	
		阪神高速おでかけバス		阪神高速おでかけバス	大阪東遊バス
普通車	1,650円	1,450円		1,450円	
普通車 (ETC2.0)	1,560円	1,360円		1,360円	
軽・二輪車	1,400円	1,240円	+	2,400円→2,200円	1日券
軽・二輪車 (ETC2.0)	1,330円	1,170円			

神戸周遊コース(料金)		阪神高速おでかけパス (東遊連発周遊のみ)		KOBEL観光スマートバスポート セットプラン	
		阪神高速おでかけバス		阪神高速おでかけバス	KOBEL観光スマートバスポート
普通車	1,650円	1,450円		1,450円	1日券 プレミアム
普通車 (ETC2.0)	1,560円	1,360円		1,360円	4,500円→4,200円
軽・二輪車	1,400円	1,240円	+	1,240円	または
軽・二輪車 (ETC2.0)	1,330円	1,170円		1,170円	1日券 ベーシック
					2,500円→2,300円

セット購入がお得です!

神戸周遊コース

大阪周遊コース

# 1. 料金改定後の交通状況

- 2024.6.1(土)より近畿圏の新たな高速道路料金として、対距離制を基本とした公平な料金体系の更なる前進に向け、新たな上限料金を設定し、高速道路をより効率的に賢く使って頂けるように様々な割引を導入・拡充しました。
- お客さまのご協力により混乱なく新たな料金に移行したところですが、引き続き、交通状況やお客さまの声に注視してまいります。

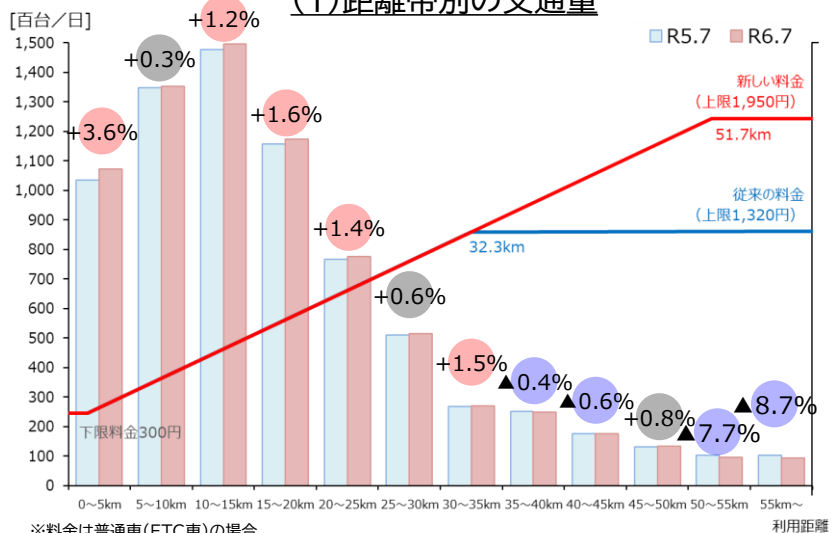
## (1)距離帯別交通量、(2)時間帯別交通量

○ 距離帯別及び時間帯別の状況は以下のとおりです。

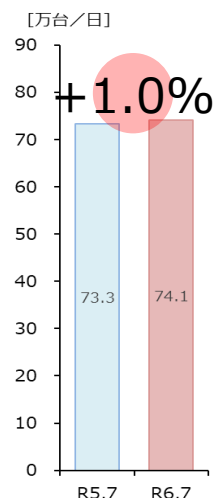
(1)前年に比べて全体交通量が増加傾向となる中、上限料金を引き上げた35km以上の利用は減少傾向ですが、35km以下の利用は増加傾向を示しています。

(2)深夜割引を導入した時間帯の交通量(0～3時台)は、全体交通量よりも大きい増加率を示しています。

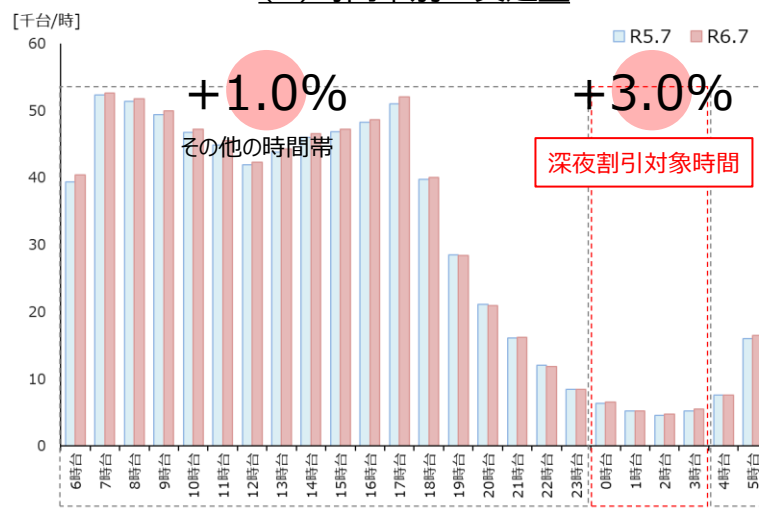
(1)距離帯別の交通量



全体交通量



(2)時間帯別の交通量



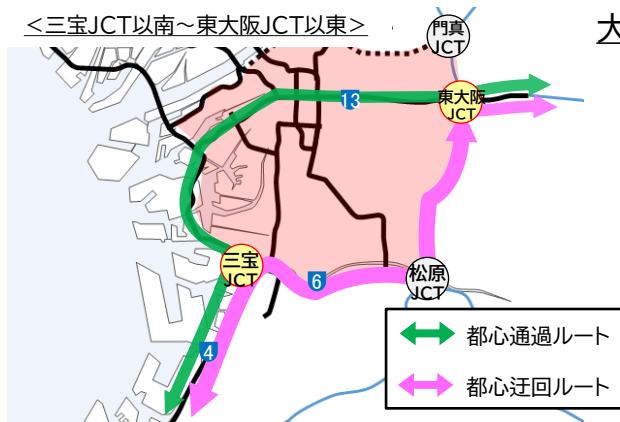


# 1. 料金改定後の交通状況

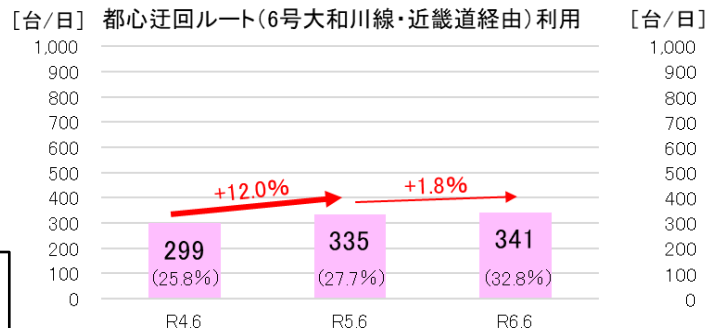
## (3) 大阪都心迂回割引、神戸都心迂回割引

- 新たに開通した大和川線や新名神高速道路開通に伴い渋滞緩和が見込まれる中国道を活用した大阪都心迂回割引及び神戸都心迂回割引を導入しています。
- 今回の料金改定により、都心部を通過する交通が減少し、大阪都心部を迂回する交通が増加しています。
- 今後とも、平均所要時間をわかりやすく情報提供するなど、お客さまがこの割引を活用して経路選択できるように取り組んでまいります。

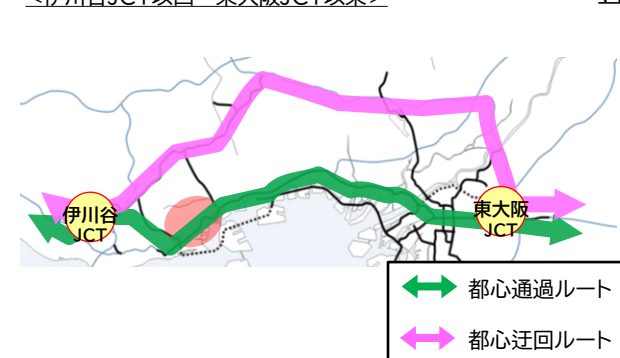
<三宝JCT以南～東大阪JCT以东>



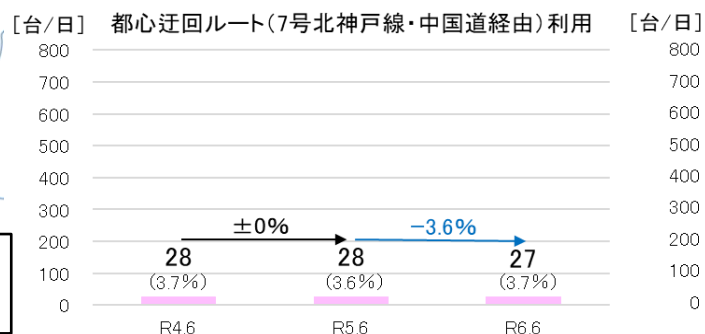
大阪都心通過ルートと都心迂回ルートの利用分担



<伊川谷JCT以西～東大阪JCT以东>



神戸都心通過ルートと都心迂回ルートの利用分担



## 2. 経営効率化に向けた今後の取り組み

(概要版)経営効率化に向けた今後の取り組みより

(概要版)

### 経営効率化に向けた今後の取り組み

2023年12月22日  
阪神高速道路株式会社



©A.M/J-23

阪神高速グループは、「先進の道路サービスへ」を理念とし、安全・安心・快適なネットワークを通じてお客さまの満足を実現し、関西の暮らしや経済の発展に貢献するため、経営の効率化に取り組んでまいりました。

近年、働き手不足、インフラの老朽化、地球環境の保全、デジタル革命の加速等、阪神高速グループの事業環境は劇的に変化しています。このような変化や社会の要請に応え、サステナブルな高速道路サービスをご提供するため、今後とも不断の経営効率化に取り組むこととし、「経営効率化に向けた今後の取り組み」を取りまとめました。

#### ○コストの縮減

労務費・資材費の高騰等の社会環境の変化に対応するため、新技術の活用等により、建設事業・維持修繕業務のコストを縮減します。また、料金所の無人化・ETC専用化により、料金收受業務を効率化します

#### ○お客さまサービスの向上

お客さまからご要望の多いパーキングエリアの改善、渋滞対策、情報提供の充実等に取り組めます

#### ○地域への貢献

2025大阪・関西万博への協力、沿線自治体等と連携した地域活性化等のため取り組みを実施します

#### ○経営体制の効率化と経営の透明性向上

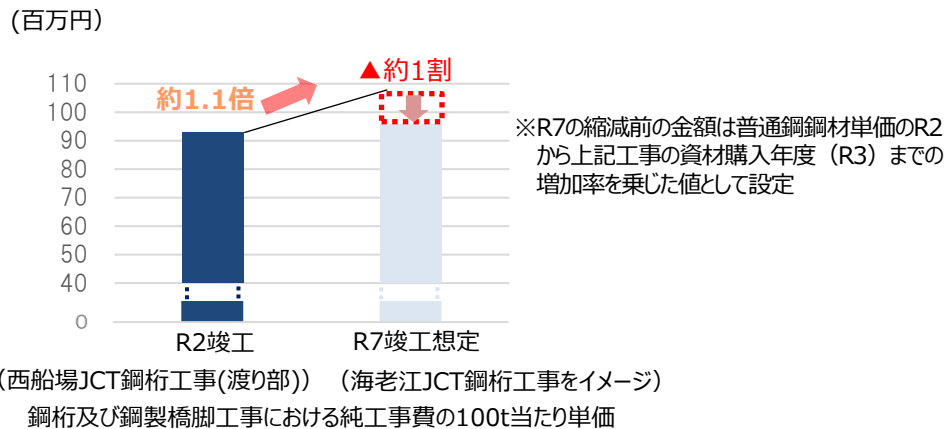
環境変化等にも対応しつつ、グループ経営体制の進化に取り組み、また、一層の経営の透明性向上に努めます

# 2. 経営効率化に向けた今後の取り組み

## ○コストの縮減

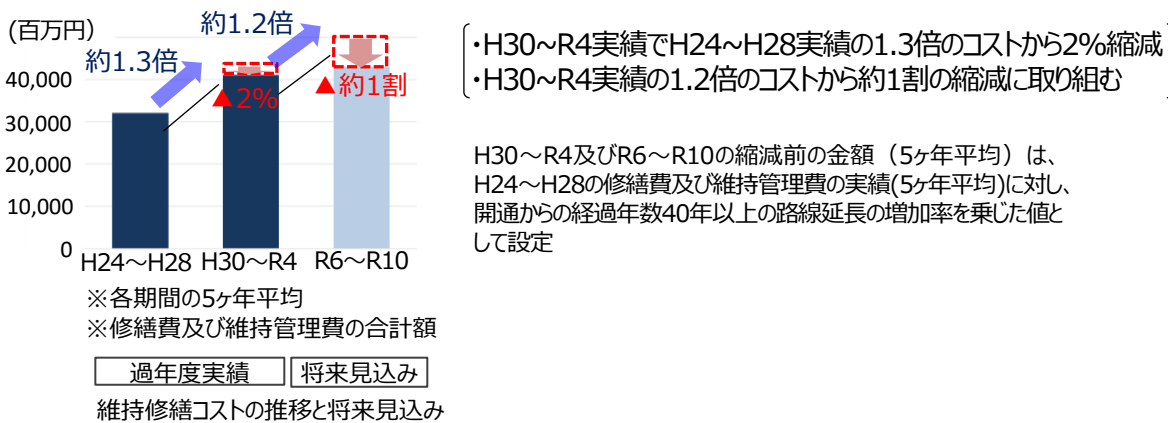
### (1) 建設事業

災害に対する強靱化、労務費・資材費等の高騰による建設コストの増加を抑制するため、新技術の活用や施工の効率化等により、初期投資コストを約1割縮減します



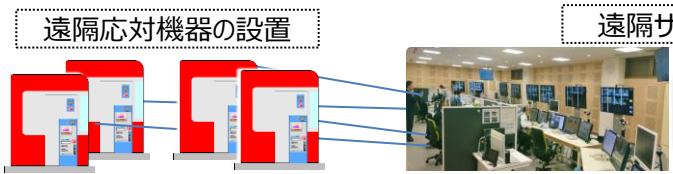
### (2) 維持修繕業務

構造物の老朽化や労務費・資材費等の高騰によるコストの増加を抑制するため、新技術の活用による効率化や構造物の高耐久化等により、維持修繕コストを約1割縮減します



### (3) 料金收受業務

料金收受業務の更なる効率化を図るため、全料金所での段階的な無人化と、ETC利用率向上の取り組みを実施します



全料金所で段階的に  
無人化・ETC専用化を実施

ETC利用率を向上させる取り組みを実施

- ETC車載器の購入費用を助成するキャンペーンを継続的に実施
- 今後、アンケート結果を活用し、効果的な取り組みを検討



# 2. 経営効率化に向けた今後の取り組み

## ○お客さまサービスの向上

### (1) PAの改善

お客さまのご要望が多いパーキングエリアの増設や、多様なニーズに対応する取り組みを実施します

- ①PAの新設 ②授乳室、オストメイト対応トイレの設置 ③ユニバーサルデザイン化 ④インバウンド対応

### (2) 新技術を活用した渋滞対策

- ①AI等の活用 ②通行止め工事の改善

### (3) 情報提供の充実

お客さまがご出発前・ご出発後に必要な情報を簡単に入手できるよう、情報の精度と分かりやすさを向上します

### (4) 阪神高速の利用促進

阪神高速の利用促進や沿線地域の振興・活性化を図るため、お客さまの利便性を考慮した企画割引を実施します

## ○地域への貢献

### ●大阪・関西万博への協力

交通課題への対応（シャトルバス自動運転、ボトルネック対策等）や、機運醸成への協力（橋梁等のライトアップやパーキングエリアへの万博プロモーションスポット設置等）に取り組みます

### ●沿線自治体や施設との連携

沿線自治体と連携したイベントやキャンペーンを実施します。また、景観面に配慮した道路構造物の建設や既存の道路構造物を活用した景観形成に取り組みます

## ○経営体制の効率化と経営の透明性向上

### ■グループ経営体制構築の目的

阪神高速道路の運営・管理に必要な機能を維持しつつ、専門的技術・ノウハウを活かし安全・安心・快適に走行できる高速道路サービスを提供



グループ経営体制を構築し自ら実施することで「品質の維持・向上」と「効率性の向上」を同時実現しています

### グループ経営体制のメリット

- 意思決定の迅速化
- 専門能力の向上
- 親会社のスリム化 等

↓  
経営の効率化  
業務効率性と品質の向上

### ■グループ経営体制の進化に向けた今後の取り組み

- 事業環境の変化
- ・働き手不足、自然災害の激甚化、構造物・設備の老朽化
  - ・料金所の無人化・ETC専用化の進展
  - ・DX等技術革新の加速、サステナビリティの実現

- 取り組み内容
- ・業務内容・分担の見直し、グループ内の契約方式の進化 等
  - ・料金所無人化等の業務形態の変化に対応した業務実施体制の見直し(整理・統廃合等)

更なる業務品質と効率性の向上に向けて、グループ経営体制進化の取り組みを継続します

### ■経営の透明性向上

今後も、ステークホルダーの皆さまのご意見等を踏まえつつ、外部有識者等によるチェックや情報の公開を継続し、一層の経営の透明性向上に取り組みます

# 3. 大阪・関西万博に向けた取り組み

阪神高速は、関西の暮らしや経済・社会活動を下支えするインフラ企業として、2025大阪・関西万博の成功と関西経済のさらなる発展に貢献するため、万博関連プロジェクトを推進しています。

## 1. 交通円滑化への貢献

- ① シャトルバスによるアクセスルートとなる淀川左岸線（2期）の整備
- ② 万博関連車両の交通需要に対応するためのボトルネック対策等の実施
  - ◇ 湾岸舞洲出口・天保山JCTの2車線化 <2024.5-6完了>
  - ◇ 阿波座<2024.5完了>・喜連瓜破<2024.12完了予定>の大規模更新工事の計画的実施 等
- ③ ETCの活用による「万博P&R利用料金」におけるダイナミックプライシングの実施を通じた混雑路線の再利用促進 **別添1**

## 2. 多様なお客さまサービス提供

- ① パーキングエリア（PA）でのサービス提供
  - ◇ 5号湾岸線中島PA（泉佐野方面行）のオープン
  - ◇ コンシェルジュサービス、ピクトグラム表示、ハラル食品の提供、授乳室の設置 等
- ② LINE公式アカウント等を活用した万博関連情報の提供

## 3. 地域のにぎわい創出

- ① 長大橋や中之島橋脚におけるライトアップの実施
- ② 道路構造物の美装化（千日前付近（常設足場）等）
- ③ 沿線地域の魅力を紹介するイベントのパーキングエリアでの開催、観光情報や地域情報の発信

## 4. 新たなプロジェクトへのチャレンジによる価値の創造

- ① 万博会場へのシャトルバスアクセスルートにおける自動運転車の走行をインフラ側から支援する合流支援技術・先読み情報提供の実装 **別添2**
- ② リアルタイムな交通状況を予測し一人ひとりと交通全体にとって最適な移動の組合せを導出する、デジタルツイン技術を活用したモビリティサービスの開発に関する実証実験や万博MaaSへの技術協力等 **別添3**

## 5. 万博（バーチャル会場）への出展 **別添4**

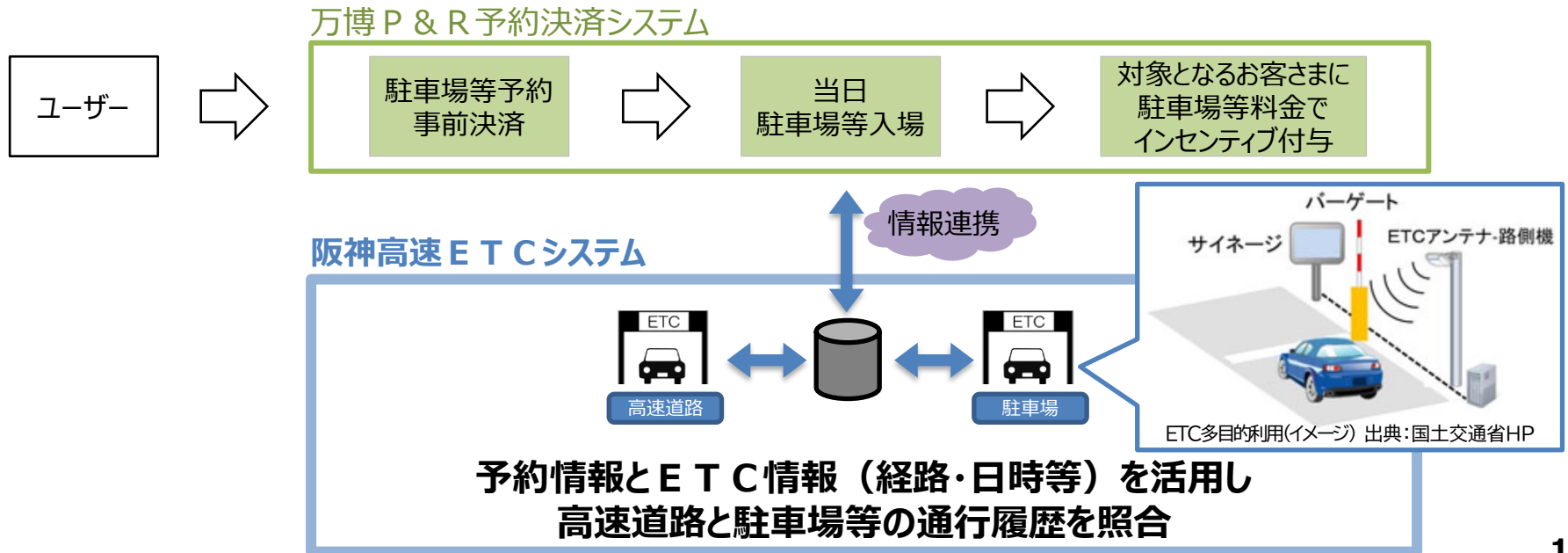
水上・陸上交通の結節点として発展してきた「サステナブル・シティ」大阪・関西の歴史と阪神高速の未来像を発信し、先人達の努力・営み・思いを次世代に継承

# 3. 大阪・関西万博に向けた取り組み

## 1. 交通円滑化への貢献

### ETCの活用による「万博P&R利用料金」におけるダイナミックプライシングの実施

- 自家用車による来場者輸送の円滑を図る観点から、①混雑する時期や時間帯を避けたご利用 ②阪神高速道路の特定出口や1号環状線等の大阪中心部の混雑区間の迂回ルートをご利用 のお客さまに対して、「駐車場等料金」を相対的に引き下げるなどダイナミックプライシングを導入することとされています。
- 阪神高速道路 E T Cシステムと、万博 P & R 予約決済システムが情報連携することにより、E T C情報を活用したダイナミックプライシングを実現します。  
※詳細については、「公益社団法人2025年日本国際博覧会協会」のHP等で順次公表予定。
- 本連携システムから得た技術やノウハウは、当社が目指す様々な次世代モビリティサービスの実現に活用してまいります。





# 3. 大阪・関西万博に向けた取り組み

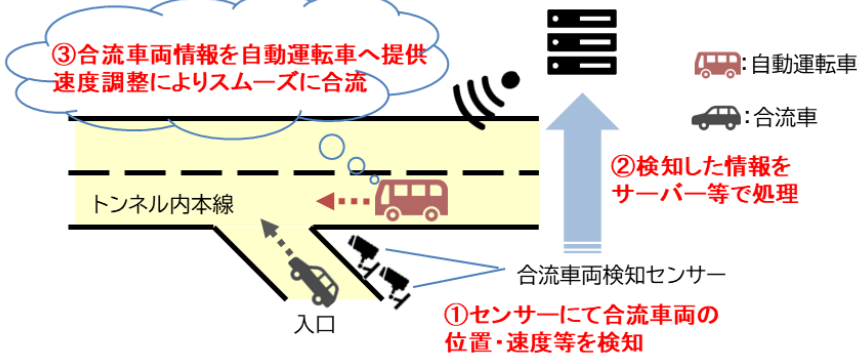
## 4. 新たなプロジェクトへのチャレンジによる価値の創造

### 自動運転車における合流支援技術等の実装

○今後の自動運転の拡大、将来の完全自動運転化（路車間協調）を見据え、万博会場へのシャトルバスアクセスルート（淀川左岸線（1期）及び（2期））において、関係機関と連携して、バス事業者が行う自動運転車の走行をインフラ側から支援する合流支援システム・先読み情報提供の実装に向けた取り組みを継続しています

#### 合流支援システム

③合流車両情報を自動運転車へ提供  
速度調整によりスムーズに合流



検知した一般車両の走行速度・車長等を自動運転バスに送信し、車線変更や減速判断に活用

#### 先読み情報提供

①管制室にてトンネル内の事故等を認知



第2車線で事故発生!

②管制室より自動運転車へ認知した情報を配信



交通管制室で把握した淀川左岸線（1期）区間での路上障害等の情報を、自動運転バスで活用可能なフォーマットで配信、自動運転車の車線変更を支援



※大阪市自動運転バス実装協議会資料より引用

黄色い四角：合流支援システムの実装予定箇所

# 3. 大阪・関西万博に向けた取り組み

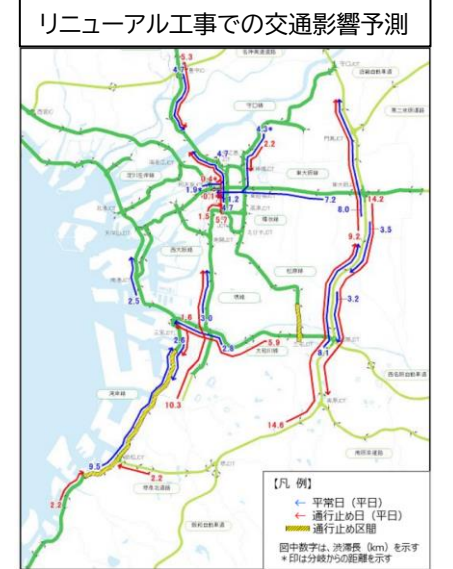
## 4. 新たなプロジェクトへのチャレンジによる価値の創造

### パーソナライズされた安全・安心・快適なモビリティサービスの実現に向けた取り組み

- リアルタイムに取得した交通データ等の反映により交通状況を逐次予測し、お客さま一人ひとりと交通全体にとって最適な移動の組合せを導出する、デジタルツイン技術の活用により、お客さま一人ひとりの状況に応じた提案を行う新たなモビリティサービスの実現に向けて技術開発を推進しています。
- 大阪・関西万博期間中では、実証実験による一部試行や万博MaaSへの技術協力等を行う予定です。

#### 従来

- 過去実績や調査に基づく渋滞予測(HP等に掲載)



イベントの予定や当日の事故など、日々異なる変化は考慮できない

#### 万博時 一部を実証実験として試行※

### リアルタイム交通予測

(移動の予定や現在の交通状況を踏まえた逐次予測)

- 人の移動に関する予測・予定・予約情報の活用
- リアルタイム観測に基づく交通状況の逐次予測



※人の移動に係るデータ取得は万博で一部実装

お客さまの経路や交通全体に与える影響などを逐次予測

### 実証実験による一部試行や万博MaaSへの技術協力等を行う予定

※共同研究者の協力により実施予定

#### 将来

人やクルマの動きをリアルタイムかつ高精度にて観測するデータ取得技術

都市圏の人の流れや交通状況を日々の変化も踏まえて逐次予測する技術



お客さま一人ひとりの違いや現在の状況にも配慮した内容・タイミングにて個別提案する技術

お客さま一人ひとりと交通全体にとって最適解となる移動の組合せを膨大な組合せから導出





# 3. 大阪・関西万博に向けた取り組み

## 5. 万博（バーチャル会場）への出展

大阪・関西は、瀬戸内海から大阪湾を経て内陸へと至る、我が国の水上・陸上交通の結節点としての機能を果たすことで、古代においては主に政治、近世においては主に商業・経済の分野で大きな役割を担い、そして現在に至るまで、永続的に発展・成長してきた世界でもまれな「サステナブル・シティ」です。

その大阪・関西の地で、阪神高速は、かつて交通インフラとして機能した水辺空間を高速道路網として再利用させていただくことで、関西都市圏の大動脈として、安全・安心・快適なネットワークを通じてお客さまの満足を実現し、関西の暮らしや経済の発展に貢献するよう取り組んでいます。

阪神高速は、万博バーチャル会場に出展し、「サステナブル・シティ」大阪・関西の歴史と、それに深く関わってきた交通の変遷・進化・その先にある未来像を、最新のVR技術を活用したCG映像と自由に散策できるVR空間によりお示しすることで、先人達の努力や営みに感謝しつつ、次世代にその思いをつなげていきます。

(出展期間：2025年5月中旬頃)

(バーチャル会場への出展イメージ)



### 万博公式プラットフォーム

#### ①バーチャル万博プラットフォーム

#### ②バーチャル催事場の内観

#### ①バーチャル会場へ入場



#### ②バーチャル催事場へ入場



### 阪神高速独自プラットフォーム



#### ④ VR空間を自由に散策

アバターで港大橋・東横堀川をVR体験

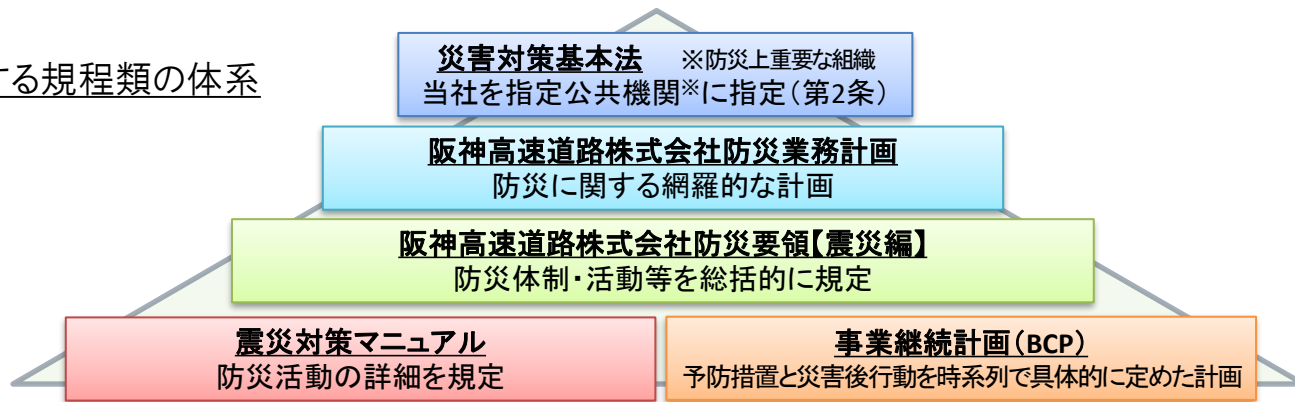




# 4. 災害時への備え

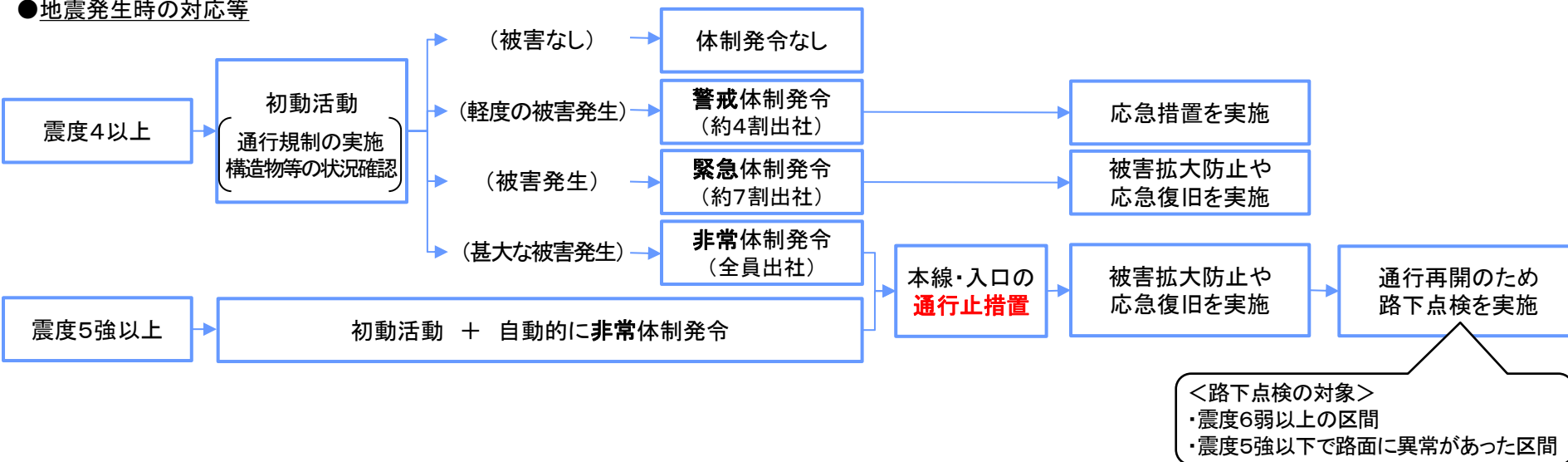
## 防災体制

○阪神高速道路の防災に関する規程類の体系

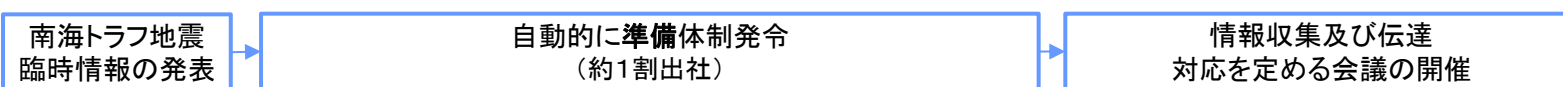


○阪神高速道路の防災体制(震災)

●地震発生時の対応等



●南海トラフ地震臨時情報(調査中/巨大地震注意/巨大地震警戒)が発表されたとき



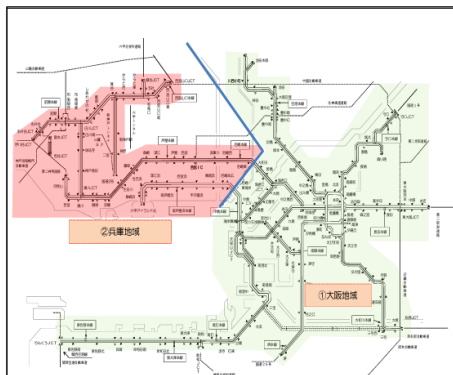
# 4. 災害時への備え

## 過去の災害への対応

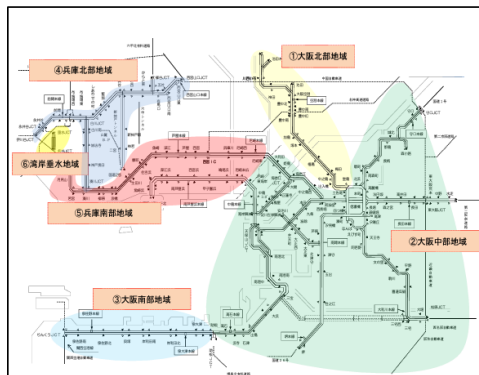
### 大阪北部地震

- 「お客様の安全確保」を第一優先の中、「高速道路が持つ役割（人の動き・物流の円滑化）の最大限の確保」が必要
- ・ 全線通行止までの時間および通行止解除までの時間を要したことから、通行止措置等に係る対応を見直し
    - …地震発生時の**通行禁止の地域区分の見直し**、**遠隔で入口を一斉に閉鎖できる装置**（入口遠隔閉鎖装置）の整備
  - ・ 通行止の早期解除に向けた安全確認（**路下点検**）の見直し
    - …路下点検対象：「震度5強以上の区間」⇒「震度6弱以上の区間 又は 震度5強以下で路面に異常があった区間」

〔通行禁止の地域区分の細分化〕 震度5強以上の地震発生時に措置する通行禁止の地域区分



2区分  
(大阪地域、神戸地域)



6区分  
(大阪北部地域、大阪中部地域、大阪南部地域、兵庫北部地域、兵庫南部地域、湾岸垂水地域)

〔入口遠隔閉鎖装置の整備〕



2024年10月現在 整備可能箇所（86箇所）へ整備済

### 【最近の震災対応】

#### 能登半島地震 (2024.1.1)

阪神高速**全域で震度4**を観測し、**初動活動の結果**、構造物等に被害がなかったため**防災体制を発令しなかった**。

#### 日向灘地震 (2024.8.8)

**南海トラフ臨時情報**（巨大地震注意）が発表され、準備参集体制が発令、地震対策室（本社、管理本部）を設置。

- ・ 8.8～8.15 通常体制に加えて待機者を**7名増員**（本社・管理本部）し、体制強化
- ・ 8.15～8.22 政府としての「特別な注意の呼びかけ」終了後、準備連絡体制へ移行し、待機者増員を1名（本社のみ）に体制縮小（管理本部は通常体制）
- ・ 8.22 準備連絡体制を解除し、通常体制へ移行

## 多様な社員の働き方・働きがいを推進する社内の取り組み

- スライドワークや在宅勤務の勤務制度や多彩な休暇制度により、社員がライフスタイルやライフイベントに合わせた働き方を選択することができる、働きやすい職場づくりを推進
- 多様な個性と価値観を尊重するDE&Iの理解を促進し、多様な人材が能力を最大限に発揮することで、働きがいを実感できる環境づくりを推進

### DE&Iの推進

- ・管理職向けアンコンシャス・バイアス研修を実施
- ・全社的な意識醸成を目的とした「DE&Iレター」を発信
- ・性別・年齢・国籍・障がいの有無等によらない採用を実施

### 女性社員

- ・女性特有の健康課題をテーマにしたセミナーを開催
- ・採用活動において女性向け座談会を実施
- ・女性活躍をテーマにしたセミナーの開催を予定

### 子育て世代

- ・法定以上の育児休業制度
- ・勤務時間の変更や短時間勤務のほか、看護休暇により育児と仕事をサポート
- ・キャリア支援を目的とした育休面談の導入を予定

### キャリア採用社員

- ・上司との定期的な1on1で組織への適応を支援
- ・入社半年後の人事担当者との面談でフォローアップ

### 若手社員

- ・複数回の新入社員研修に加え、定期的な研修やオンデマンド学習等のOFF-JTによる成長機会を提供
- ・採用活動やイベントへの参加を通じた成長体験
- ・メンタリング制度により先輩・後輩相互の意欲向上

### 介護世代

- ・介護制度に関するガイドブックにより制度利用を促進
- ・特別休暇や年次休暇のほか、特別繰越制度による充実した休暇制度



# 5. 阪神高速道路における多様な働き方・サービス提供の取り組み

## お客さまの多様なニーズに対するサービス提供

ピクトグラムや多言語表記によるわかりやすいご案内



無人料金所における聴覚障がい者のお客さま対応



多様なニーズに応えるサービスの提供



料金検索サイトのカラーバリアフリー化(色覚多様性への配慮)

